笠岡市では，H29年10月より
「認知症初期集中支援推進事業」を開始しています。

≪ 目的 ≫

認知症になっても本人の意志が尊重され，できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために，認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とした事業です。

≪ 事業の内容 ≫

◆下記の方々を対象とし，医療と生活をつなぎ，自立した生活を支援します。
◆認知症専門医との連携により，関わる職員のスキルアップを図ります。

≪ 具体的には ≫

◆家庭訪問（対象者の把握･情報収集･アセスメント）
◆必要な支援につなげ，関係機関との連携を行う。
◆チーム員会議・初期集中支援チーム検討委員会の開催　など

≪ 対象者 ≫

40 歳以上の在宅生活者で“認知症が疑われる人”または“認知症の人”のうち，医療機関との連携が必要な人。
（※認知症の初期段階とは限らず，中期でも医療や介護との接触がこれまでなかった人も含む）

≪ 従事者 ≫

◆チーム員：医療職と介護職のペア
　　⇒笠岡市地域包括支援センター・笠岡市地域包括ケア推進室
◆専門医　：きのこエスポアール認知症疾患医療センター
◆事務局　：笠岡市役所（長寿支援課・地域包括ケア推進室）